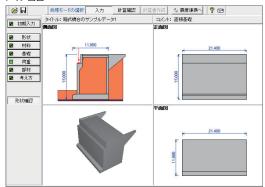
部分係数法·H29道示対応

- H24道示対応製品の「箱式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み 込みに対応
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応
- 胸壁、翼壁、竪壁 (前壁、後壁、側壁、隔壁)部材の地震時温度変化荷 重 (D+TH+EQ)ケースの照査対応
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」、「深礎フレーム の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」「震度算出(支承設計) (部分係数法・H29道示対応)」と連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能

メイン画面



Ver.4 改訂内容

2025年2月28日リリース

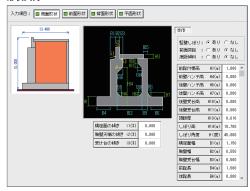
- 1. 上部工反力の支承位置毎の入力に対応
- 2. 橋座の設計において、支承位置からの抵抗面積の自動設定に対応
- 3. 震度連携時の剛性モデルの重量(頂版や受け台、任意荷重)の考慮に対応
- 4. 設計調書の書式を拡張(翼壁)

適田其淮

(公社)日本道路協会

道路橋示方書・同解説 | 共通編 平成29年7月 道路橋示方書・同解説 Ⅲ コンクリート橋編 平成29年11月 道路橋示方書・同解説 Ⅳ 下部構造編 平成29年11月 道路橋示方書·同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 杭基礎設計便覧 令和2年9月

形状入力



旧基準

道示IV (H24.3)、設計要領 (H18.4) に基づいて、箱式橋台の設計計算を行うプログラムです。

● 底版剛体照査、底版のせん断補強鉄筋比の照査、底版の補強設計 (直接基礎、杭基礎)、レベル2底版設計時、任意荷重を考慮が可能

● レベル2地震時の安全性判定が可能、杭基礎連動では2.5次元の設 計が可能

適用基準

橋梁下部工

(公社)日本道路協会	道路橋示方書·同解説 共通編 平成24年3月 道路橋示方書·同解説 V 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書·同解説 V 耐震設計編 平成24年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月
東·中·西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 -橋梁建設編- 平成28年8月
(社)農業土木学会	土地改良事業計画設計基準設計「農道」平成17年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	既設道路橋基礎の補強に関する参考資料 平成12年2月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月
その他	土地改良事業標準設計図面集 利用の手引き「橋梁下部工(橋台)」平成11年3月(社)農業農村情報総合センター EPS工法 発泡スチロール(EPS)を用いた超軽量盛土工法 平成10年8月(社)理工図書 構造物標準設計図集・下部構造編 昭和59年3月日本道路公団

ラーメン式橋台の設計計算(部分係数法・ H29道示対応) Ver.4 (MAPPE) 対応予定

/(旧基準)Ver.8

静定構造物であるラーメン式橋台の設計計算、 耐震・補強設計プログラム

H29道示対応 プログラム価格 ¥297,000 (税抜 ¥270.000)

底版、翼壁拡張オプション (H29道示対応) ¥33,000 (税抜¥30,000)

カスタマイズ版 ¥279,400 (税抜¥254.000) 旧基準

プログラム価格 ¥218,680 (税抜¥198,800)

底版、翼壁拡張オプション (旧基準) ¥23,100 (税抜¥21,000)

Windows 11 対応

電子納品 3D PDF

形状から自動的に骨組解析を行います。橋座の設計、踏掛版、突起の考慮、翼壁の設計、杭本体の設計などをサポートしています。

- 各部材毎に温度変化、乾燥収縮を考慮した設計検討可能
- 橋座の設計、踏掛版の設計、翼壁の設計
- 直接基礎:荷重の偏心を考慮した地盤の支持力検討、突起を考慮し た滑働昭杳
- 置換基礎を設置し、滑動・地盤反力度を考慮可能

- 杭基礎:許容支持力算出、杭本体の設計、杭頭と底版の結合部の照査
- 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出(支承設計)」との連動可能

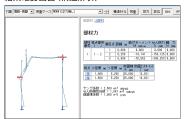
【翼壁拡張オプション】

● 翼壁の設計において、平板解析に対応

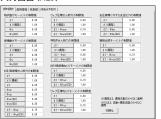
メイン入力画面



結果確認画面(構造解析)



調査·解析係数、部材·構造係数、抵抗係数 入力画面(H29)



3D表示



部分係数法·H29道示対応

- H24道示対応「ラーメン式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み 込みに対応
- ラーメン部材(前壁、後壁、頂版、桁受台、底版中央部)のほか、前後 趾、胸壁、翼壁等の部材照査が可能
- ラーメン部材の隅角部では、端接合部の照査が可能
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連 携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応

Ver.4 改訂内容

2025年1月31日リリース

- 1. 上部工反力の支承位置毎の入力に対応
- 2. 橋座の設計において、支承位置からの抵抗面積の自動設定に対応
- 3. 端接合部照査の耐久性能(腐食)に対する補強鉄筋量の算出に対応
- 4. 設計調書の書式を拡張(翼壁)

適用基準

(公社)日本道路協会

道路橋示方書·同解説 | 共通編 平成29年7月 道路橋示方書·同解説 || コンクリート橋編 平成29年11月 道路橋示方書·同解説 || V 下部構造編 平成29年11月 道路橋示方書·同解説 V 耐震設計編 平成29年11月 抗基礎設計便覧 令和2年9月

旧基準

- 保有水平耐力法によるレベル2地震時の前趾・後趾・底版中央部照査
- 底版下面の段差フーチング・前後趾、底版中央部の厚さが違う形状サポート
- 底版を増厚・増幅する補強設計、底版剛体照査の検討可能

適用基準

(公社)日本道路協会	道路橋示方書·同解説 共通編 平成24年3月 道路橋示方書·同解説 下部構造編 平成24年3月 道路橋示方書·同解説 付 耐震設計編 平成24年3月 杭基礎設計便覧 平成19年1月
東·中·西日本高速道路(株)	設計要領 第二集 -橋梁建設編- 平成28年8月
(社)農業土木学会	土地改良事業計画設計基準 設計「農道」平成17年3月

参考文献

(公社)日本道路協会	既設道路橋基礎の補強に関する参考資料 平成12年2月 道路橋の耐震設計に関する資料 平成9年3月
東·中·西日本高速道路(株)	設計要領第二集 カルバート編 平成17年4月
その他	土地改良事業標準設計図面集 利用の手引き「橋梁下部工(橋台)」平成11年3月(社)農業農村情報総合センター EPS工法 発泡スチロール(EPS)を用いた超軽量盛土工法 平成10年8月(社)理工図書 構造物標準設計図集・下部構造編 昭和59年3月日本道路公団

震度算出(支承設計)(部分係数法·H29道示対応) Ver.8

R7道示 対応予定

静的フレーム法による固有周期(水平震度)、 上部構造部分の重量(分担重量)を算出 プログラム価格 ¥256,300 ^(税抜¥233,000) 立体骨組解析オプション (H29道示対応) ¥55,000 (税抜 ¥50,000) 橋梁下部工

カスタマイズ版 **¥279,400** (税抜 ¥254,000)

Windows 11 対応

電子納品 3D PDF

有償セミナー

静的フレーム法により固有周期(水平震度)と当該下部構造が支持している上部構造部分の重量(分担重量)を求めるプログラムです。複数振動単位系を有する橋梁でも、自動で設計振動単位を分割し、設計振動単位に応じた計算を行います。単体機能として、一基下部構造の計算、固有値解析、任意形状の固有周期算定機能をサポートしています。UC-1 下部工製品とのデータ連携により、効率的な下部工の設計を支援します。

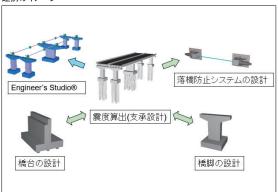
【プログラムの機能と特長】

- 橋梁モデル解析:上部構造と下部構造の組み合わせにより、橋梁モデルの解析(固有周期、設計水平震度、分担重量、下部構造に作用する慣性力)に対応
- 1基下部構造:下部構造データと解析に必要な最小限の入力で、1基下部構造としての計算が可能(上部構造データの作成は不要)
- 下部構造の水平方向の剛性算出:弾性荷重法を用いて、下部構造の水平方向の剛性、躯体の水平剛性、基礎の水平バネ、基礎の回転バネを算出
- 任意骨組解析:任意骨組入力モデルのFRAME 解析をサポート
- 桁かかり長の計算に対応
- 永続・変動作用時の解析
- Engineer's Studio®データのエクスポートに対応
- 設計調書の出力に対応
- 下部構造プロダクトと連動している場合に各下部構造の設計計算書の統合出力に対応

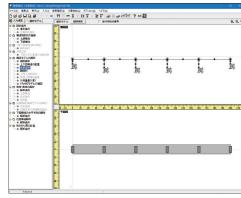
【震度算出(支承設計)立体骨組解析オプション】

● ラーメン橋脚の門形骨組への対応

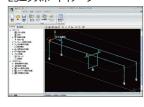
連携のイメージ



メイン画面



ESエクスポートイメージ



支承条件入力

